

「鳥取県の将来ビジョン(追補版)」(案)に対するパブリックコメントでの主な意見と対応方針

実施期間:平成26年7月7日(月)～8月8日(金)

分野詳細	意見の要旨	対応方針	
「つなげる」P8 (3)鳥取来楽暮②	移住定住の推進策は、移住者のみに対する支援策が目立ち、現在住んでいる人が将来にわたって住み続けようとする支援が手薄。人のライフスタイルに注目して、県内市町で結婚、子育て、高校までの進学、就職などをトータルで支援する枠組みを充実させるべき。 県内でも4市に人口が集中する傾向にあるが、中山間地でも安心して子育て、進学できるように、特に高校までの若い世代に投資、支援できる枠組みを県として示すべき。	反映	強きを伸ばし弱きを克服する、定住の観点で追記
「育む」P26 (2-3)バランスの取れた学校教育⑨	日本一の英語普及県を目指す取組を希望。 (商流を拡大できる人材の育成、観光事業の強化、意見を発しない県民性の改革等の目的)	既に盛り込み済み	パブリックコメント時点で盛り込み済み
「ひらく」P2 (2)「高付加価値で打って出る産業」へ転換⑦	「起業家・職人の育成」 20年30年先に「夢を持ち・行動力があり・知恵がある青年経済人」と「伝統芸能・職人」など他県には無い人材を育成する事が必要となる。その為には他県では無くこの鳥取県を起業家という夢を最短で叶えてくれる場所、伝統芸能・職人を育てる場所にすべきである。 何かやりたい人間を集める『とっとりドリーム政策』を打ちだして欲しい。活力ある街を作るには活力ある人間が必要である。人が街を作るのだから、そこに住む人のレベルを上げる事が大切。	反映	起業の視点を追記
「ひらく」P3 (4)食のみやこ鳥取県	大学等との連携により県産食材の機能性研究や高付加価値化、産官学連携による栽培漁業の商業化、県産食材を盛り込んだ郷土料理の開発により「食のみやこ鳥取県」を推進すべき。	既に盛り込み済み	当初版に記載済み
「ひらく」P4 (5)ようこそようこそ鳥取県	「ようこそようこそ鳥取県」を「きなんせ、すみなんせ鳥取県」へ変更すべき。また、京都と旅行商品を開発して外国人客を誘客するなど、観光を推進すべき。	今後の検討課題	提案の趣旨を踏まえ、今後の検討事項とする
「楽しむ」P16 (2)芸術・文化の振興④	唱歌ふるさとを全国レベルの交流へ繋げ、文化振興・交流推進を図るべき。	反映	芸術文化の振興による地域活性化の視点を追記
「支え合う」P22 (4)健康づくり文化の創造⑦	健康維持、鬱防止の為、明るい曲でリズムに乗って踊ることを年齢に関わらず日常的に行うことを推奨する。 ダンスは仲間とともに踊ったり、イメージをとらえて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動。鳥取まんが王国・子育て王国の次は「鳥取ラテン王国」はどうか。	反映	生涯スポーツ振興の視点から追記